

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	94	事業名	包括的支援事業	担当部課	福祉部長寿課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	介護保険特別会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款—項—目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 介護保険法			3-2-1 包括的支援事業費	
事業開始の背景、経緯等	高齢者のケアに関する地域の総合的なマネジメントのため、平成18年度に地域包括支援センターが設けられた。また、平成30年4月から全ての市町村で在宅医療・介護連携、認知症総合支援、地域ケア会議推進事業(新しい包括的支援事業)を開始することとなっている。					
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 介護保険法第115条の44第1項第2号から第5号に定める事業を包括的支援事業として実施する。地域包括支援センターの運営を行い、介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント等の業務を行う。医療と介護の連携を推進する事業、地域での認知症のケアを効果的に推進する事業、多職種による地域のケアマネジメントのあり方や課題を抽出する事業を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 主として市内在住の65歳以上の人
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活できるようにする。

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	事業費(A)	千円	予算	57,579	68,151	80,986	83,202	103,397
			決算	46,992	64,346	77,884	78,185	
人件費(B)	千円	決算	11,075	15,683	15,825	14,779		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	58,067	80,029	93,709	92,964		
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		8,749	9,055	9,349	9,580	9,804	
対象あたりコスト(C/D)	千円		7	9	10	10		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	地域包括支援センターへの相談件数	件	目標	-	-	3,000	3,300	4,500
			実績	2,395	2,440	3,586	4,585	
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠) 支援が必要な高齢者は増えつつあるが、感染症対策による外出自粛により相談件数が減少すると推測するため						
相談件数の多さが、相談支援体制充実の一つの指標となるため。								
(前年までと変更した場合はその理由)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 高齢者増加に伴い、地域包括支援センターへの相談件数も増えており、目標を達成している。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 独居高齢者や後期高齢者のみの世帯の増加により、家族内での互助機能が低下し、高齢者の伸び以上に支援を必要とする人が増加している。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 高齢者が日常生活の中で接する可能性が高いスーパーや喫茶店等の民間事業者との連携を進める必要がある。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	包括的支援事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
事業を構成する事務事業①	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	【アクションプラン】多職種連携事業参加者数【単年】	人	見込	700	700	800	900	1,040
			実績	715				
(3) 生活支援サポーター養成人数【累計】	【アクションプラン】	人	見込	80	100	120	140	160
			実績	85				
(4) 認知症サポーター養成講座参加者数【単年】	【アクションプラン】	人	見込	1,300	1,300	1,350	1,350	1,400
			実績	1,296				
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 地域包括支援センター相談対応件数4,585件							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	事務事業②	包括的支援事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
事業を構成する事務事業②	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③	包括的支援事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
事業を構成する事務事業③	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域のネットワークを構築し、多様な主体が高齢者のケアに携わる仕組みづくりを進める。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 5年後を目途として、本市としての地域包括ケアシステムのあり方の合意形成を図る。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・市民との連携協働の可能性が「有」のため、事務事業での市民参加について模索してください。
内部意見への回答	